

やまた
広報

天皇皇后両陛下

山田町をご訪問

【ようこそ天皇皇后両陛下・関連記事2・3号】



No
1108

今号の主な内容

ようこそ天皇皇后両陛下
希望郷いわて国体
平成27年度決算
町のわだい

2・3
4～7
8・9
10・11

11月1日号 2016

CONTENTS

ようこそ 天皇皇后両陛下



ふれあいセンター前で、出迎えた町民に笑顔でお応えになる両陛下

多くの町民が歓迎

両陛下をお乗せしたお車は、当日、午前11時半過ぎに大槌町役場を出発。県警車両の先導で、国道45号を北上しました。小雨がばらつく、あいにくの天候でしたが、各地区の沿道沿いには両陛下をお出迎えしようと、多くの町民が詰め掛けました。両陛下がお見えになると沿道や役場前では歓声とともに日の丸小旗が一斉に振られ、その歓迎ぶりに両陛下は笑顔で応えられていました。

庁舎で復興状況ご視察

正午過ぎ、復興状況ご視察とご昼食のため、役場にお立ち寄りになった両陛下は、佐藤信逸町長の案内で庁舎内へと入られました。庁舎4階の町長室で佐藤町長から復興状況をご聴取。

9月29日、天皇皇后両陛下が本町を訪問されました。「第71回国民体育大会」へのご臨場と東日本大震災復興状況のご視察のため来県されていた両陛下は、同日、車で大槌町を出発。その後、山田町役場と山田町ふれあいセンターにお立ち寄りになり、宿泊先の大槌町へと足を運ばれました。役場正面玄関前や沿道には多くの町民が詰め掛け、日の丸小旗を手に両陛下を歓迎しました。両陛下のご訪問は平成9年に大槌町で開催された「全国豊かな海づくり大会」の際のご訪問以来で、19年ぶりとなりました。

その後、庁舎5階に設けられた会場でご昼食をとられました。ご昼食には、宮内庁をはじめ達増拓也知事など13人が同席。町からは、佐藤町長と昆暉雄町議会議長が昼食を共にされました。

ふれあいセンターへ

午後2時過ぎ、両陛下は、ことし開所したばかりのふれあいセンターご視察のため役場を出発。佐藤町長の先導で同センターに入られ、山田子どもまちづくりクラブのメンバーによる施設内についての説明をご聴取されました。

約3時間のご視察を終えられた両陛下は、見送る町民に「お元気で」と声をお掛けになり、町をお立ちになりました。両陛下をお乗せしたお車が見えなくなるまで、沿道では小旗が振られ続けていました。

町の人声



川端 ミヨさん（長崎地区・75歳）

両陛下にお会いして、お話までさせていただき、生きていてよかったと実感しました。「お体に気をつけてください」とお声もかけていただき、私も「両陛下もお気をつけてください」と、話しました。今日という日は私の一生の思い出です。



湊 チホさん（北浜地区・73歳）

前は沿道から小旗を振っていました。今回は間近でお会いできてうれしかったです。今日は手作りのネックレスをしてきたのですが、皇后陛下が気にかけてくださり、「お作りになったのですか」とおっしゃられたので、あまりの感動に涙が出ました。



吉田 達彦さん（境田地区・72歳）

前回いらっしゃったときは、仕事で町を離れていて残念な思いをしました。ですから、今日は楽しみにして沿道まで来ました。両陛下のお姿は少ししか見ることができませんでしたが、こちらに手を振ってくださり、お元気な様子で安心しました。



熱烈な歓迎ぶりだった役場庁舎前



両陛下を笑顔で心待ちにしていました



ふれあいセンターに訪れた両陛下



まちづくりクラブのメンバーの説明をご聴取されました

2016 希望郷 いわて国体

第71回国民体育大会

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

熱戦繰り広げた4日間

高校野球（軟式）を開催

岩手県での開催は46年ぶりとなった国体が10月1日から開催されました。本町では、2日から高校野球（軟式）競技が4日間にわたり実施され、多くの人が高校球児の熱闘を観戦。球場では、多くの町民の方々がボランティアとして協力したほか、町内の児童と生徒による学校応援も行われ、国体を成功へと導きました。

全国から10校が出場

熱戦を繰り広げる

10月2日、町民総合運動公園野球場で開会式が行われ、岩手県の専修大学北上高等学校の佐藤峻選手が「一戦一戦全力でプレーすることを誓います」と宣誓し、4日間にわたる熱戦が幕を開けました。全国でも有数の選手のプレーは多くの人を魅了。



高らかに宣誓する佐藤選手

観戦した方は「選手達の姿に感動しました。自分の青春時代を思い出しました」と感想を話していました。

学校応援とお振る舞い

町全体でもおてなし

熱い試合をさらに盛り上げたのは、町内の児童・生徒による学校応援でした。また、会場では、連日力キ汁や鮭のすり身汁が振る舞われ、プレー後の選手たちの空腹を満たしました。そのほかにも、受付や球場整備などに多くの町民の方々がボランティアとして協力。町全体での『おもてなし』が、今回の国体を成功に導く鍵となりました。

試合結果

B ● ● ● ●
S ● ● ● ●
O ● ● ● ●

◎ 1日目

・第1試合

柳井商工高等学校（山口県）

× 仙台商業高等学校（宮城県）

柳井商工	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4
仙台商業	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	5

延長11回

・第2試合

登別明日中等教育学校（北海道）

× 専修大学北上高等学校（岩手県）

登別明日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
専大北上	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3

延長13回

・第3試合

上田西高等学校（長野県）

× 桜丘高等学校（愛知県）

上田西	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2
桜丘高校	0	0	3	0	1	1	1	0	×	6	0	6

◎ 2日目

・第1試合

作新学院高等学校（栃木県）

× 天理高等学校（奈良県）

作新学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
天理高校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2

延長14回

・第2試合

早稲田大学高等学院（東京都）

× 仙台商業高等学校（宮城県）

早稲田大	0	0	1	0	0	0	0	1	3	5	0	1
仙台商業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1

・第3試合

専修大学北上高等学校（岩手県）

× 文徳高等学校（熊本県）

専大北上	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3	0	1
文徳高校	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1

延長10回

◎ 3日目

・準決勝第1試合

早稲田大学高等学院（東京都）

× 桜丘高等学校（愛知県）

早稲田大	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	2
桜丘高校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

・準決勝第2試合

天理高等学校（奈良県）

× 専修大学北上高等学校（岩手県）

天理高校	0	0	0	2	0	0	0	2	4	8	0	4
専大北上	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	2

◎ 4日目

・決勝戦

天理高等学校（奈良県）

× 早稲田大学高等学院（東京都）

天理高校	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4	0	4
早稲田大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

準優勝

早稲田大学高等学院



◎たてぬまい き 蓼沼大樹主将

選手権の決勝で負けた相手だったので、リベンジできず悔しい思いがありますが、全国で一番長く野球ができて幸せです。観客席からの応援や差し入れなどの温かいおもてなしに感謝の気持ちでいっぱいです。

◎で さきあきひと 出崎彰人監督

堅い守備とチームワークで勝利を目指すのがこのチームの特徴です。今大会は、その特徴が十分に発揮でき、準優勝という結果を残すことができました。小学生の応援やボランティアの方々のサポートがとてもありがたかったです。町ぐるみでのおもてなしに感謝します。

優勝

天理高等学校



◎ゆう じ 大瀬祐治主将

自分たちの持ち味である堅い守りで0点に抑えて優勝でき嬉しいです。決勝戦4回裏のノーアウト満塁のピンチを全員で乗り切れたことで勢いがついたと思います。山田に元気を届けるつもりが、皆さんの温かさから逆に元気をもらいました。

◎しゅん ち 木田準也監督

全員で意見を出し合い、共に助け合いながら戦うのがこのチームです。今回の大会も全員で戦えたから優勝できました。また、地元の方々のサポートもありがたかったです。グラウンドの整備もしっかりしていただいて、選手たちも試合に集中して臨めたと思います。

第3位

専修大学北上高等学校



◎しゅん 佐藤峻主将

2試合が延長戦で、厳しい大会でしたが『最後の1球まであきらめない心』で乗り切ることができました。強敵ばかりでしたが、チームメイトと、暑い中応援してくれた町の皆さんのおかげで3位という結果を残せました。

◎ひつ 菅野裕二監督

今回の国体は充実していて、選手たちと長く試合ができて良かったです。延長戦が続き、消耗しているなかでも良く戦ってくれた。ピッチャーの及川丞君も気持ちで投げていたと思います。いつも以上の力を出せたのは球場からの声援があったからです。応援ありがとうございました。

第3位

桜丘高等学校



◎りょう た 中村亮太主将

優勝を目標にしていたので、悔しい結果となりましたが、国体という舞台で長く試合ができて良かったです。台風の被害を心配していましたが、皆さんがやさしく迎えてくれて感動しました。ありがとうございました。

◎ゆきひと 加藤幸人監督

このチームの長所は自分たちで考えて試合を展開できるところです。今回の大会でも発揮できていたと思います。今回負けてしまいましたが、生徒たちにはこの3年間の経験を生かしてほしいと思っています。また、山田町の方々の温かい歓迎に感謝します。

4日間の熱闘に沸いた球場の様子を写真で紹介します。



白球追いかけて全力プレー



喜びのハイタッチ



会場が沸いたホームスチール



一生懸命応援するよ



会場では山田の幸をお振る舞い



多くの人が熱戦を見届けました



勝つぞ！



クロスプレーの判定は...



出塁目指して疾走



試合を盛り上げた吹奏楽



学校応援は選手の力となりました



優勝の喜びを分かち合う天理ナイン

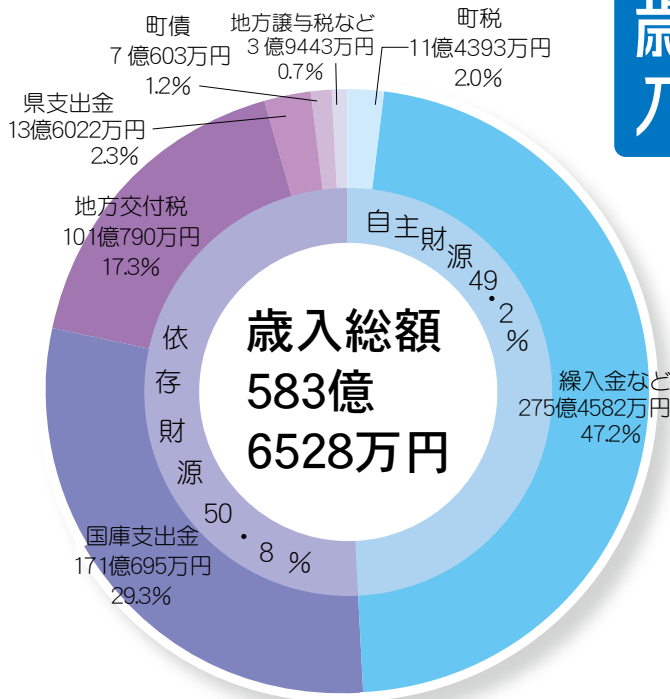


歳入

平成27年度決算

大切な財源の 使いみち

「まちの家計簿」ともいえる平成27年度の決算がまとまりました。町では、皆さんが納める大切な税金などをもとに仕事をしており、決算はその使いみちを示すものです。一般会計と6つの特別会計の決算の概要をお知らせします。



平成27年度山田町歳入歳出決算書より（四捨五入により総額が合わない場合があります）

歳入は前年比約17億円の増

平成27年度の一般会計の歳入総額は583億6528万円、前年度比3.0%の増でした。当初予算額は536億1508万円。東日本大震災に伴う復旧・復興事業の対応などにより、9回の補正予算を編成しました。性質別に見ると、町が独自に確保できる自主財源（町税、繰越金など）は全体の49.2%と、前年と比べ5.2%増加。一方、国や県から配分されるお金や町債（町が資金調達のため政府や銀行から借りたお金）などの依存財源の割合は50.8%となりました。また、町税は前年比7.0%の増。要因は町民税4435万円の増や、固定資産税2千万円の増などがあげられます。町債は前年比35.5%の増で、その要因には、斎場建設事業債6700万円、ごみ焼却施設整備事業債9140万円などがあげられます。

主な歳入の使いみち

歳入の総額は485億4545万円、前年度比0.6%の減となりました。各項目別の主な支出は次のとおりです。

最も多く支出されたのが土木費の188億2047万円。主な使いみちとしては、山田地区



山田地区津波復興拠点整備事業施行管理委託料 9億8371万円

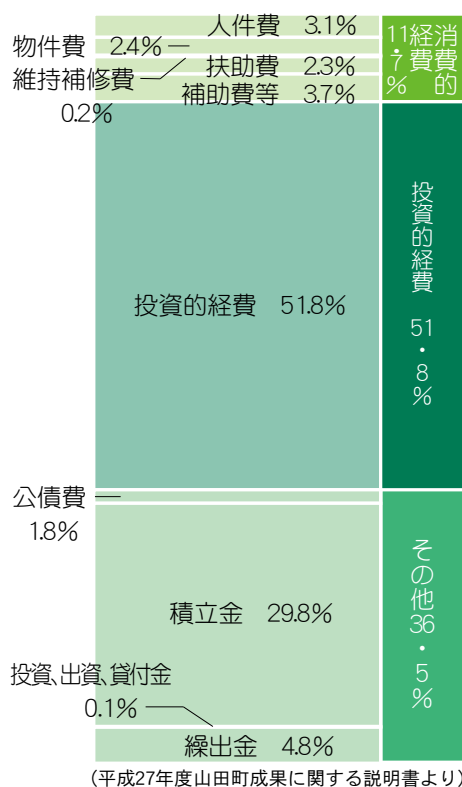


太陽光発電蓄電システム設置工事費 1億2185万円

2番目に多く支出されたのが総務費で159億4703万円。主な使い道としては、復興交付金管理運営基金積立金124億6009万円、長期派遣職員人

主な用語の解説

- 地方交付税：市町村の財政力に応じて、国から交付されるお金
- 分担金・負担金：町で行う特定の事業で特別の利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するお金
- 国庫・県支出金：国・県が町に対して特定の事業に使いみちを指定して交付するお金
- 町債：町が事業を行うために計画的に借りたお金
- 繰入金：基金やほかの会計から繰り入れたお金
- 自主財源：町が自らの機能で調達したお金
- 依存財源：国や県の権限・基準によつて交付されるお金
- 繰越明許費：歳出予算の経費のうち、その年度内に支出が終わらない見込みのあるものを、翌年度に限り繰り越して使用することができるもの
- 人件費：特別職の報酬や



性質別



ふれあいセンター開設用書架等購入費 2561万円

件費負担金2億5812万円、太陽光発電蓄電システム設置工事費1億2185万円などです。教育費は、ふれあいセンター開設用書架等購入費2561万円

投資的経費の割合が増加

一般会計の歳出を性質別に分けたのが左の棒グラフです。公共施設の建設や道路整備など快適な暮らしの実現のため使われる投資的経費の割合は、51.8%、前年度に比べ6.9%増えました。増加の要因は、普通建設事業や災害復旧事業の積極的な展開によるものです。主な事業としては、大沢地区漁業集落防災機能強化事業32億5090万円(補助事業)、被災者住宅再建支援事業3億9245万円(単独事業)がありました。

歳出

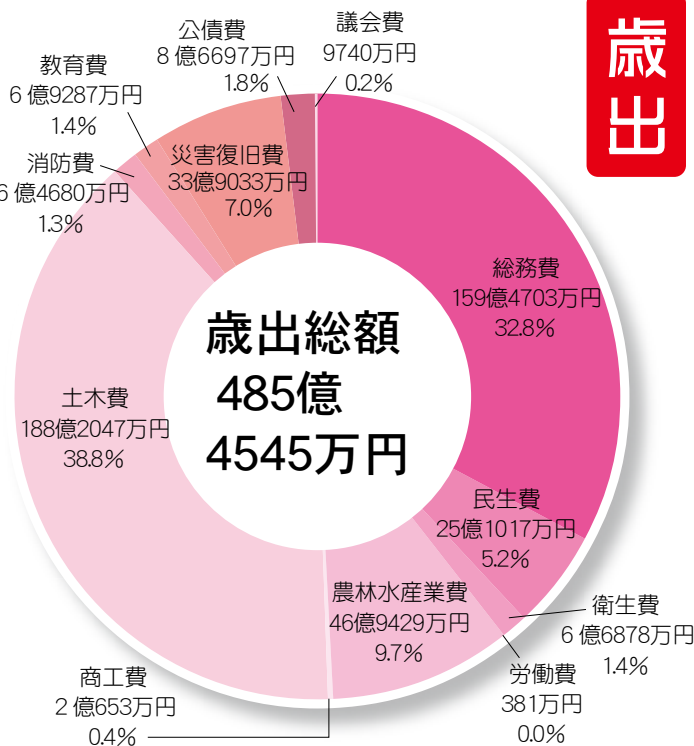
特別会計の決算状況

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う必要がある場合に、一般会計と区分して経理をするため、条例で設置するものです。

特別会計で管理することにより▶受益と負担の関係や事業ごとの収支をより明確にすることができる▶適正な受益者負担、事業収入の確保や歳出削減努力を進めることができる——などのメリットがあります。

◆特別会計の決算額

特別会計名称	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	32億5796万円	32億4844万円
後期高齢者医療	1億5124万円	1億5076万円
介護保険(事業勘定)	17億5777万円	16億6699万円
介護保険(サービス事業勘定)	586万円	574万円
漁業集落排水処理事業	1億7277万円	1億3927万円
公共下水道事業	18億4685万円	13億5118万円



一般職に支払う給与

■物件費：施設の管理費や物品購入などに使う費用

■扶助費：医療費や児童手当などに使う費用

■総務費：全般的な管理事務、庁舎管理、徴税、戸籍、選挙などの費用

■民生費：住民の皆さんの一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な費用

■衛生費：健康で衛生的な生活環境を保持するための経費。保健衛生やごみ収集、公害対策などに使う費用

■商工費：商工業の振興、観光、企業誘致などに掛かる費用

■土木費：道路・公園・下水道などの建設や維持、都市計画に使う費用

■災害復旧費：災害で被害を受けた道路などの補修などに使う費用

■公債費：町債を返済するための費用

平成28年度山田町喜寿を祝う会 友人との会話に笑顔あふれ

9月24日、町中央公民館小ホールで平成28年度喜寿を祝う会が開催されました。これは、喜寿を迎えられた方々を祝い、長年の町への貢献に感謝するために毎年行われているものです。この日は、各地区から103人が参加。山田町食生活改善推進員の皆さんが用意した料理に舌鼓を打ちました。旧知の仲である友人との会話に自然と笑顔があふれます。ステージでは大浦保育園の園児らによる踊りや参加者によるカラオケなどが披露され、会場は大いに盛り上がりました。



丈夫な体で長生きを 豊間根の佐々木^{さん}が100歳に

豊間根地区の佐々木チャさん（大正5年生まれ）が9月23日で満100歳の誕生日を迎えました。同日、町内の介護老人保健施設ではお祝い会が開かれ、ご家族や入所者の皆さん、職員など大勢の方が祝福。長生きの秘訣は「若い頃に体を良く動かしていたこと」とのこと。旦那さんが林業や農業で生計を立てていたため、チャさんもその手伝いで山に。なんと90歳まで畑の草むしりをしていたそうです。最後には「祝ってもらって申し訳ない。ありがとうございます」と皆さんに元気にあいさつをしていました。

町民芸術祭が盛大に開幕 芸術の秋彩るアートの数々

芸術の秋を彩る平成28年度町民芸術祭が10月15日、展示部門を皮切りに開かれました。オープニングセレモニーでは、アトラクションとして山田書道会のパフォーマンスが行われ、ことしのテーマである「輪」の文字を4つの書体で見事に表現しました。また、16日には阿部社中によるお茶会も行われました。町中央公民館や町中央コミュニティセンター、保健センターには、絵画や習字、生け花などが展示。2日間の展示期間が短いと感じられるほど、数多くの素晴らしい作品が展示されていました。





町のわたし

今月の題字 臼澤 蘭さん（轟木小3年）



2016山田農業まつり開催 青空の下で秋の味覚を堪能

雲一つない晴天となった10月16日。山田農業まつりが豊間根中学校グラウンドで開催されました。会場に並ぶのは新鮮な農産物。その他、マツタケ汁やそばなどのお振る舞いも行われ、訪れた人々は秋の味覚を堪能しました。ステージイベントでは豊間根保育園の園児らによるよさこいソーランや八幡大神楽、キッズダンスが披露され観客から拍手が送られました。また、岩手県緑化推進委員会山田支部協議会による親子木工教室では、多くの親子がイス作りに挑戦。協力しながらぐぎを打ち込み、木のぬくもりあふれるイスを完成させていました。

最後の寿司キャラバン 同郷の会が町を元気に

10月19日、町民グラウンド仮設団地でふる里山田同郷の会（小川淑弘会長）によるお寿司と海鮮丼のお振る舞いが行われました。「寿司キャラバン」と銘打たれたこの活動は、2014年10月に始まり、開催は5回目。今回で各地区の仮設団地へのお振る舞いを終えました。食材などは同会からの寄付、キャラバン隊の旅費はそれぞれ自費とのこと。小川会長は「震災後、移動手段のない方、高齢者の方に美味しいものを食べてもらいたいと思った」とこの活動を始めた思いを語りました。会場には多くの住民が訪れ、新鮮なネタを心ゆくまで堪能していました。



みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ 〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報係 ☎82-3111内線417) へ。

「岩手国体」

二度目の参加

先日10月1日(土)、第71回いわて国民体育大会に一般参加をした。一度目の参加は昭和45年10月第25回の岩手国民体育大会でした。盛岡で、高校一年生の私は『合唱』でメインスタジアムで『国歌斉唱』『いわて県民歌』『若い力』そして次の国体開催県の『和歌山県民歌』を賛唱したことは忘れえぬ思い出でした。まさかもう一度『岩手国体』に参加する日が来るなんて。すぐにチケット申し込み、46年前のあの日と同じ秋晴れの暑い開幕となりました。オーブニングでの伝統芸能などなど、

そして東日本大震災の話題が出ると、一般参加の中からすすり泣きが聞こえた。あの時の悲しみと苦しさを乗り越えて一般参加した人たちの復興への歩みへの感謝は、岩手国体の感動の涙が溢れた素晴らしいさわやかな開幕の一日目となりました。

国体開会式終了後、あふれる熱気を背に『新聞号外』を受け取り、感動!!の帰途に着きました。

黒沢 頼江(船越・61)

「古希に感謝」

震災による被災者および犠牲者の方々の心情を思うと浮かれてもいられませんが、両親は早くも他界し、親の年齢を越え早くも70歳という年齢となり、古希を迎えて感謝する次第であります。人生は決して平たんな道程ばかりでなく私の身にも多くの試練が有りました。「窮して変じ、変じて通す」の言葉を脳裏に大半のことは乗り越えてきたつもりです。病気に關しては今日まで大きな病は無く、無知のために医者にもお世話賜り、心より感謝いたします。また多くの方々から多大なるご支援とご愛顧を賜り、古希の節目を振

り返ってみれば、今日までの道程が懐かしうありがとうの言葉に勝るものはないと思います。

山崎 泰司(船越・70)

やまだ文芸広場

・古里へ 瓦礫潜りて 泳ぎ帰る

・鮭の姿は 神秘的なり

大川 ヒメ子(大沢・72)

・熱帯夜 波間に消えた 妹を 憶い出しては 尚眠られぬなり

匿名希望(大沢・74)

・人間の 苦きつうんと 呑みこみて

我水ゆきし 紅葉の溪

・暮れて行く 秋のかたみの ころろざし 木の葉に包む

内館 洋一(飯岡・73)

・我をすて 己を見れば 恥ばかり

・老夫婦 二人で一つに 思ひ愛

山崎 栄子(船越・67)

・秋鮭や 銀に輝き

競りを待つ

・みずひき草

四、五本手折りて

ビンに差し

沼崎 悦子(船越・74)

・わが町に 6F復興住宅 偉容見せ

佐藤 兼男(荒川)

おしらせ

白石水車まつりへご参加を

▽日時 11月13日(日) 午前9時半〜

▽場所 白石地区水車小屋

▽内容 農産物の販売、つきたてのお餅やそばのお振る舞い、パーベキュー大会など

◆問い合わせ 白石集落農産生産組合 ☎08001224711790) へどうぞ。

おしどり夫婦トークライブ



◆問い合わせ (タケウチ ☎0901441017139) へどうぞ。

町長室から

希望郷いわて国体へのご臨場と併せ、被災地の復興状況視察のため、天皇皇后両陛下が約20年ぶりに本町へお立ち寄りになられ、沿道に詰め掛けた多くの町民が出迎えた。時折小雨の降る中、その様子をご覧になられた両陛下も終始笑顔でお応えになられていた。庁舎に御着きになられた両陛下に震災当時の様子などをお話させていただき、その後、両陛下との会食にも同席させていただいたが、「このような大役がよもや私に巡ってこようとは」との思いであつた。とても和やかな雰囲気でお食が進み中、料理に使われている岩手県産食材の話題になり、今年はマツタケが豊作であることを陛下にお伝えすると、それはよかったとお喜びになられた。両陛下が交わされる穏やかな会話に同席者からは自然と笑みがこぼれ、お二人のお人柄にただただ魅了させられたひとときであつた。

山田町長 佐藤 信逸



中村 敏彦さん（大沢・44）

多くの人が来たいと思う町に

業に興味を持つきっかけになればいいです」と顔をほころばせます。今後の抱負について「この山田に『多くの人が来たいと思うような魅力』をみんなと協力して作り出していくことです」と力強く話してくれました。

9月24日、アイルランド西部ゴールウェイで「カキの殻早おき世界大会」が開催されました。同大会には、東日本大震災の復興支援として、町内でカキ養殖業を営む中村敏彦さんが特別ゲストに招かれ、長年の経験で培った技を披露。世界に向けて山田町をアピールしました。「カキの名産で知られるアイルランドですが、養殖場のすぐ隣に牧場が広がっ

ているのには驚きました。河口にも近く、山と川の恵みがあるカキの味を生おんでですね」と出場した感想を話す中村さん。「山田町であの味を出すことは難しいですが、山田独自の魅力を出していきたいですね」と意気込みます。

中村さんは、普段の養殖業のほかに、体験型観光にも力を入れていきます。「観光に訪れた方々からの感想を直接聞けるのは、自分が漁業を続けていく上での糧になります。最近は町内の小学生も体験学習として参加しているの、子どもたちが漁

町民登場

135

キッチンスタジオ ハーモニー

No.93

このコーナーでは、町栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが手軽に作れるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などをご紹介します。今回は、にんにくの風味でさんまの美味しさが倍増！「さんまのガーリックステーキ」です。

【材料（2人分）】

さんま…1～2尾 塩…少々 こしょう…少々
小麦粉…大さじ2 オリーブオイル…大さじ1/3
ミニトマト…6個

【さっぱり大葉レモンソース】

にんにく…1かけ オリーブオイル…大さじ1
レモン果汁…大さじ1と1/2 酒…大さじ2
しょうゆ…小さじ1 大葉…3枚 はちみつ
（砂糖でも可）…小さじ1/2

【作り方】

- ①さんまは3枚におろし、腹側の小骨をそぎ切りにして取り除いておく。両面に塩こしょうをふり、ラップをかけて冷蔵庫で5分おく。
- ②さんまをねかせている間にソースを作る。にんにくと大葉はみじん切り、ミニトマトはヘタを取って縦に2等分しておく。レモン果汁、酒、しょうゆ、大葉、はちみつを合わせておく。
- ③さんまを冷蔵庫から取り出し、1切れを3等分に切る。
- ④③に小麦粉をしっかりまぶし、オリーブオイルを敷いたフライパンで中火で両面をこんがり焼く。

さんまのガーリックステーキ



1人当たり…エネルギー 360Kcal、塩分1.1g

- ⑤さんまに中まで火が通ったら皿に盛り付ける。
- ⑥フライパンをきれいに拭き、ソースのオリーブオイルとにんにくを弱火でゆっくり加熱する。にんにくの香りがたったら合わせておいた調味料とミニトマトを加え、中火で2/3の量になるまで煮詰める。
- ⑦皿に盛り付けたさんまにソースをかけて出来上がり！

町民が集う憩いの場所

山田町まちなか交流センターがオープン

まちなか再生区域内に整備を進めていた山田町まちなか交流センターが完成し、11月9日（水）から利用できます。町民の交流の場として利用できるスペースと、食育や特産品を使った商品開発ができる調理機能を備えた施設であるほか、震災ギャラリーや談話室で幅広い世代がくつろげる「緩やかな場所」を持ち合わせています。

施設の概要と利用方法は次のとおりです。

▽開館時間 午前9時～午後9時

※午後5時以降は、利用申し込みがある場合のみ開館します。

▽休館日 毎週火曜日（祝日）



雨の日でも利用できる
交流イベントスペース

談話コーナーも完備

開放感のあるデッキ

広めの調理室



交流センターへのアクセスマップ

◆施設使用料金一覧

利用施設	使用料 (4時間当たり)
交流イベントスペース	400円
交流スペース1	1000円
交流スペース2	600円
交流スペース3	600円
調理室	1200円
多目的室	600円
デッキスペース	400円

▽施設概要 ▼1階：交流イベントスペース ▼2階：交流スペース1、2、3 ▼3階：調理室、多目的室

※使用料金は右表のとおり ※使用は1回4時間単位。連続して施設を利用できる期間は3日間

▽申込時期 使用日の3カ月前～7日前

▽申込手続方法 左記申込先へ使用許可申請書を提出してください。電話による予約は受け付けません。

※詳しい内容は町ホームページにも掲載しています。

◆申込先・問い合わせ 町生産工課商工労働係（☎82-3111 内線223）へ。

浄化槽設置補助金

追加募集を行います

被災者以外の方対象の浄化槽設置補助金の追加募集を行います。募集基数に限りがあり、申し込み多数の場合は抽選となる場合がありますので、設置をお考えの方はお早目にご相談ください。なお、被災者に対する補助はこれまでどおり随時受け付けます。

▷補助条件 被災者以外の方で、平成29年3月15日までに実績報告書を提出でき、町税および上下水道料金を滞納していない方

▷対象地区 豊間根、荒川、石峠、山谷、山田の一部、織笠の一部、小谷鳥など

▷受付期間 11月1日～11月30日（土・日曜日祝日を除く）

▷募集基数 10基程度

◆申込先・問い合わせ 町上下水道課下水道庶務係（☎82-3111 内線256）へ。

◆補助金の額一覧

人槽区分	金額
5人槽	44万円
7人槽	55万1千円
10人槽	73万5千円

成人式への参加申し込みをお忘れなく



昨年の成人式の様子

▽日時 来年1月8日（日）午後1時～3時

▽場所 町中央公民館大ホール

▽対象 平成8年4月2日～平成9年4月1日まで

に生まれた方（町外に住んでいる方も参加可）

▽内容 記念式典、記念講演、記念撮影

▽申込期限 12月16日午後5時

◆申込先・問い合わせ 町生涯学習課社会教育係（☎82-3111 内線625）へどうぞ。



農業まつりでニコリ

児童虐待の防止へ 講演会を行います

11月は児童虐待防止推進月間です。町では、子どもの人権・児童虐待への正しい知識と理解を深めていただくために、児童虐待防止講演会を開催します。

▷日時 11月17日(木)

午後1時半～3時半

▷場所 町中央公民館小ホール

▷演題 「地域で守ろう、子どもの笑顔～虐待の現状から～」

▷入場料 無料

◆問い合わせ 町健康福祉課児童福祉係 ☎82-3113 へ。

リハビリ体操の 講演会を行います

シルバーリハビリ体操についての講演会を行います。今後地域で体操指導者として活動してみたい方の申し込みをお待ちしています。

▷日時 11月7日(月)

午前10時半～午後3時

▷場所 エスポワールいわて

(盛岡市中央通)

▷講師 茨城県立健康プラザ管理者 大田仁史氏(シルバーリハビリ体操考案者)

▷演題 「住民参加の介護予防とシルバーリハビリ体操～最後まで人間らしく～」

▷参加料 無料

▷対象 おおむね60歳以上で、今後体操指導者として活躍してみたい方

※希望される方は、町役場から会場まで送迎します。

▷持ち物 筆記用具、昼食

▷定員 10人程度

▷申込期限 11月4日

◆申込先・問い合わせ 山田町地域包括支援センター ☎82-3136 へどうぞ。

認知症への知識を 深める講演会開催

認知症の人やその家族、地域住民が認知症の正しい知識を学び、地域で支える社会を推進するための講演会を行います。入場料は無料で、予約不要です。

▷日時 11月13日(日)

午後1時半～3時45分

▷場所 宮古市民文化会館大ホール(宮古市磯鶏)

▷内容 ▶講演「地域型認知症疾患医療センターの取り組み」▶フォーラム「認知症の人の思い・家族の思い～10年の取材現場から～」

◆問い合わせ 山田町地域包括支援センター ☎82-3136 へどうぞ。

交通安全がテーマ 中央公民館で大会

「第39回正しい交通ルールを守る運動 宮古地方交通安全大会」が本町で開催されます。

▷日時 11月15日(火)

午後1時半～3時半

▷場所 町中央公民館大ホール

▷内容 ▶体験型安全教育資機材コーナー(自転車、歩行環境、俊敏性年齢測定)▶講演「交通事故被害者がかかえる問題とその支援について」

◆問い合わせ 町町民課地域安全係(内線126) へどうぞ。

岩手芸術祭の入賞 作品を展示します

第69回岩手芸術祭各部門で入賞した作品が、約80点展示されます。皆さんのご来場をお待ちしています。

▷展示期間 11月11日(金)～13日(日)

▷時間 午前9時～午後4時

▷場所 町中央公民館小ホール・視聴覚室

▷入場料 無料

◆問い合わせ 町生涯学習課文化係(内線622) へどうぞ。

各種相談会を開催 お気軽にご利用を

◎宮古地区法律相談

▷相談日 11月10日(木)、11月17日(木)、11月19日(土)、11月24日(木)

▷時間 午前10時～午後3時

※19日は午前10時～午後4時まで

▷場所 宮古市役所本庁舎1階(宮古市新川町)

▷相談内容 相続や金銭トラブルなど、法律に関わることについて

▷申込先 宮古市市民相談室 ☎62-2111

◆問い合わせ 岩手弁護士会 ☎019-623-5005 へ。

◎知的障がい者巡回相談

▷日時 12月13日(火)

午前11時～午後4時

▷場所 フラットピアみやこ(宮古市田の神)

▷内容 18歳以上の知的障害者についての相談、判定

▷申込期限 11月11日

◆申込先・問い合わせ 町健康福祉課地域福祉係(内線151) へどうぞ。

◎心配ごと相談所【11月】

▷日程 ▶14日(月)…豊間根生活改善センター▶15日(火)…ふるさとセンター▶16日(水)…旧不動産生コンⅡ仮設談話室▶17日(木)…外山ブロックセンター▶18日(金)…大浦小学校下仮設談話室

▷時間 午後1時半～3時

▷相談内容 普段の生活の中の悩みごとや福祉について

◆問い合わせ 山田町社会福祉協議会 ☎82-3841 へ。

◎行政相談所

▷日時 11月29日(火)

午後1時半～3時半

▷場所 町中央コミュニティセンター第2研修室・集会室

▷相談内容 国や県、市町村の仕事で納得できないことなどについて

◆問い合わせ 町町民課地域安全係(内線126) へどうぞ。

介護家族のための リフレッシュ教室

高齢者を介護されている方、介護に関心のある方のために教室を開催します。

▷日時 11月24日(木)

午後1時半～3時半

▷場所 ヘルパーはうす地域交流スペース(大沢4-38-5)

▷内容 認知症の方が入れる高齢者施設(グループホーム)の見学や、ほかの介護施設やサービスの説明、交流会

▷申込期限 11月23日

◆申込先・問い合わせ あゆみ訪問看護ステーション山田 ☎77-5757 へどうぞ。

食の匠認定料理を 身につけませんか

宮古地方の岩手県食の匠認定料理と技を知ることができる公開講座が本町で行われます。ぜひご参加ください。

▷日時 11月29日(火)

午前10時半～午後1時半

▷場所 町中央コミュニティセンター調理室

▷内容 スルメの酢漬け、舞茸おこわ、山田せんべもちのつくり方についての講座

▷参加料 千円(材料費)

▷持ち物 エプロン、三角巾

▷定員 先着20人

▷受付期間 11月7日～11日

◆申込先・問い合わせ 宮古農業改良普及センター ☎64-2220 へどうぞ。

町職員人事異動 (10月14日付)

◆税務課 ▷収納係長(学校教育課主任)昆吾吾▷主事(企画財政課同)木村航

◆建設課 ▷主事(税務課同)赤崎友康

◆学校教育課 ▷施設係長(建設課主事)花崎和博

おめでた・おくやみ

9月届け出分（敬称略）

〔出生〕（ ）は保護者と性別

- ▷船越 齊藤風太（龍太・男）、山崎功遂・山崎史達（萌年・男）、山崎陽葵（彰・男）、飯野剛健（勇・男）、田中蒼空（雄太・男）
- ▷田の浜 永野凜佳（信吾・女）
- ▷織笠 西口陽（善雄・女）

〔結婚した二人〕（ ）は住所

- 山崎光広（船越）・佐々木美咲（岩泉町）
- 佐々木優作（豊間根）・佐々木ちひろ（豊間根）
- 山崎拓美（船越）・桐内陽香（宮古市）
- 佐藤千裕（船越）・君澤沙恵（宮古市）
- 高橋海（宮古市）・湊真優実（八幡町）
- 佐藤恒輝（山田）・佐々知絵未（織笠）
- 菊池公（長崎）・中嶋久子（一戸町）
- 木村渉（豊間根）・黒田美咲（宮古市）
- 菊池史博（盛岡市）・福館アリサ（船越）

〔死亡〕（ ）は年齢

- ▷山田 甲斐谷ハル子（87）、三浦愛子（90）、堀合フクエ（90）、眞田将文（46）、竹内モモ子（90）、瀬川サヨ（86）
- ▷船越 坂本久一（84）
- ▷田の浜 糠盛公平（84）
- ▷大浦 港慶吉（86）
- ▷織笠 高橋ヨノエ（76）、上野フミ子（85）、佐々木徳（94）、高山佐美（81）、
- ▷大沢 小野寺市治郎（90）
- ▷豊間根 佐々木カヨ（98）
- ▷荒川 瀬川一夫（61）

町民のうごき

（9月1日～30日）

- ▷出生……10人 ▷転入……18人
- ▷死亡……22人 ▷転出……16人

- ▷人口…16227人（今月減10人）
- 男…7917人 女…8310人
- ▷世帯数……6712世帯



◆食欲の秋。「今夜は食べる量に気を付けよう」と思っているのに、食卓には芳醇な香りを放つ山の幸。つつい食べ過ぎてしましますが、「そういう季節だから」と、諦めることにしました。

◆国体を取材。専大北上の吹奏学部が対戦校も応援する姿に心が熱くなりました。野球部だつた私の応援歌は「暴れん坊将軍」。しかし、あばれん棒となることなく、夏は終わりました…。

松



藤原 綺
（長崎・潔・男）



阿部 聖人
（北浜町・民王・男）



豊間根 想
（豊間根・一人・男）



竹内 享
（織笠・淳一・男）



湊 真希羽
（豊間根・真吾・女）



石崎 椋介
（豊間根・政幸・男）

※敬称略、（ ）内は地区名・保護者・性別です。



秋の全国火災予防運動

11月9日から実施します

11月9日から15日まで「消しよう その火その時 その場所」を防火標語に、秋の全国火災予防運動が行われます。

これからの季節は空気が乾燥し火災が起こりやすく、また、暖房機器を使用する機会も多くなりま

すので、火災を起こさないよう、火の取り扱いには十分ご注意ください。

◎火災警報機器、消火器設置を

平成23年に、すべての住宅の寝室や、寝室に続く階段への住宅用火災警報器の設置が義務付けられ

ました。住宅用火災警報器は火災の早期発見、早期避難に高い効果があります。皆さんの大切な命と財産を守るために設置しましょう。

また、住宅用火災警報器は年数が経過すると電池切れで正常に作動しなくなりますので、定期点検をお願いします。

最近、県内では不適正な消火器の訪問販売などが発生しています。

消防署では訪問販売などは行っていないのでご注意ください。

◆問い合わせ 山田消防署予防係（☎82-3139）へご連絡。